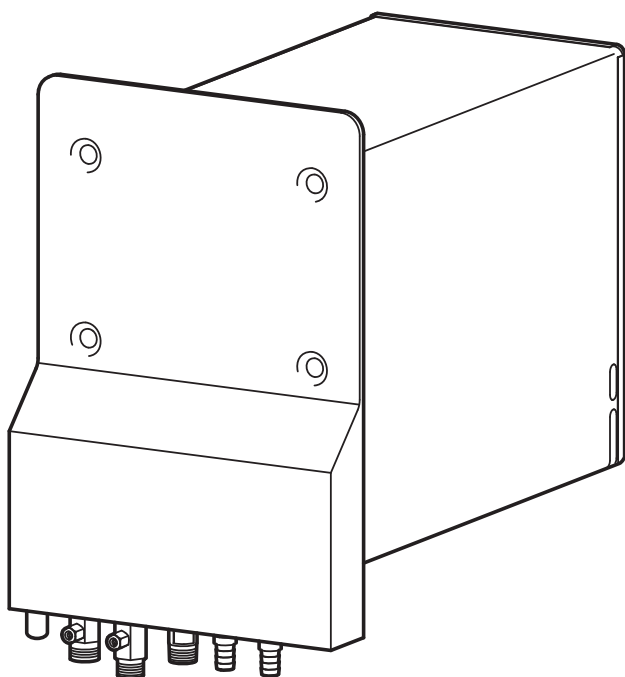


給湯付風呂釜（外壁貫通設置型）

WF-806SA



保証書付

■このたびは、ハウステック製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書(保証書付)をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

■お読みになった後は、大切に保管してください。



734T1028AA

も く じ

はじめに

特 長	1
安全上のご注意	2
各部の名まえとはたらき	10

使用方法

初めてお使いいただくときは	15
お湯を使う（温度設定）	16
ふろ自動運転	19
おいだきをする	23
たし湯運転	24
かま洗浄運転	25
表示画面のモードを切替える	26

このようなときは

凍結のおそれがあるとき（凍結予防方法） . . .	27
長期間お湯を使用しないとき	29

必要なときに

点 検・ お 手 入 れ	30
------------------------	----

故障かな？

修理を依頼される前に	32
エラーコード表示がでたら	34

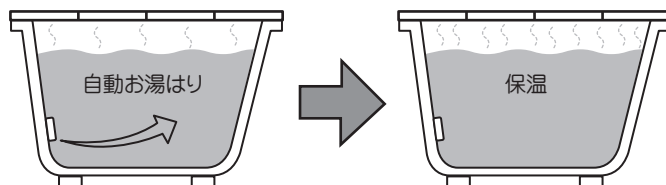
その他

寸 法 図	35
仕 様	36
アフターサービスについて	37
保 証 書	巻末

はじめに 特 長

1 スイッチポンでお風呂が沸かせます。

ふたをして  を押せば、あらかじめ決めておいたお好みの湯温と湯量でお湯はりができます。



 を押して沸き上げ完了後から設定した保温時間なら、お湯がさめれば自動で保温します。

2 お好みの給湯温度でお湯が使えます。

リモコンで設定した温度でお湯が出ます。
約 37℃～60℃まで設定できます。

主な記号の説明

記号	内 容	記 載 例
	操作の順序を表します。	
	参照していただきたいページを表します。	
■	本製品が操作などにより、表示・動作する内容を表します。	■ 運転ランプが点灯します。
●	操作をとまなう、知っておいていただきたいことを表します。	● 一度設定すれば記憶します。
◆	その他の知っておいていただきたいことを表します。	◆ 通常は、節電モードをおすすめします。

はじめに 安全上のご注意

- 安全に使用していただくための重要な項目ですので、必ずお読みください。
- ここに示した事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

この取扱説明書では、お客様や近隣の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために説明文及び製品の表示では、いろいろな絵表示をしています。

表示と意味は次のようになっています。内容をよくご確認ください。

注意表示	意 味
 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

絵表示には次のような意味があります。

絵表示	意 味	絵表示	意 味	絵表示	意 味
	一般的な注意事項		一般的な禁止事項		必ず行う事項
	感電注意		分解禁止		アース接続確認
	高温注意		火気禁止		電源プラグを抜く
			接触禁止		ぬれた手の接触禁止

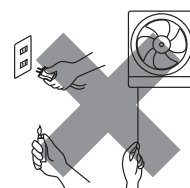
⚠ 危険

■ガス漏れに気づいたとき

- ① すぐに使用をやめてガス元栓を閉じる。また、メーターガス栓も閉じる。
- ② 窓や戸を開ける。
- ③ お買い求め先（販売店）またはもよりのガス事業者へ連絡する。

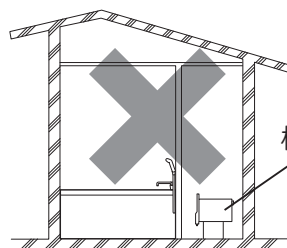


- お買い求め先（販売店）やガス事業者の係員が処置するまでは絶対にマッチやライター等の使用や、漏電ブレーカーの抜き差し、近くの電気機器（換気扇など）の「入」「切」、周辺の電話を使用しないでください。
炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



■屋内に設置しない

- この機器は、屋外用（外壁貫通設置型）です。絶対に屋内に設置しないでください。
不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因となり大変危険です。



機器本体



⚠ 警告

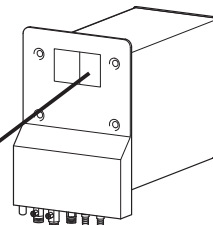
■使用ガスの種類及び使用電源の確認をする

- 機器の銘板に表示してあるガス種及び電源を確かめてください。表示のガス種及び電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒や、爆発着火によるやけど、機器が故障する原因となります。
- 転居されたときも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。
分からない場合は、お買い求め先（販売店）または当社窓口へご連絡ください。



- ◆ ガスの種類には、都市ガスとLPGガスとがあり、都市ガスには、さらにガスグループの区分があります。

メーカー型式 設置方式	例
ガスの種類及びグループ	都市ガス用 13A12A
ガス消費量	
定格電圧	AC100V
定格消費電力	
定格周波数	50Hz / 60Hz
製造年月日及び製造番号	11.09 - 00001
製造業者名	製造年月 製造番号



はじめに 安全上のご注意

⚠ 警告

■機器の設置・移動及び付帯工事はお買い求め先（販売店）またはもよりのガス事業者に依頼する

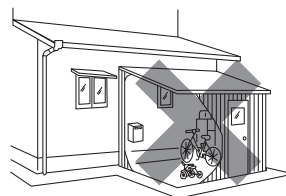
- 不備があると火災、ガス漏れ、感電、水漏れ、故障の原因になります。安全な位置に正しく設置してご使用ください。



必ず行う

■増改築などで機器や排気口を囲わない 波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどで囲わない

- 不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止

■ガス接続工事はお買い求め先（販売店）またはもよりのガス事業者に依頼する

- この機器のガス接続はねじ接続です。不備があるとガス漏れの原因になります。



必ず行う

■使用中の外出、就寝はしない

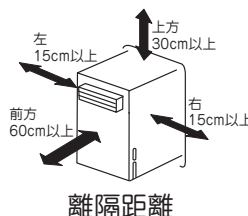
- 思わぬ事故や故障の原因になります。



禁止

■燃えやすい物とは離す（樹木、木材、箱など）

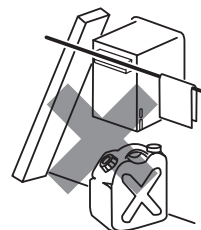
- 木造住宅など可燃壁に取付ける場合は、専用の取付スリーブ（WF-SLV）を使用し、10mm 以上の離隔距離を確保してください。火災の原因になります。



必ず行う

■機器の周囲に燃えやすいものを置かない （洗濯物、新聞紙、灯油など）

- 引火して火災の原因になります。



禁止

■機器や排気口の周囲にスプレー缶やカセット こんろ用ボンベなどを置かない

- 熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発するおそれがあります。



禁止

■機器や排気口の周囲で引火のおそれのある物 （スプレー、ガソリン、ベンジンなど）を使用しない

- 引火して火災の原因になります。



禁止

警告

■シャワーなどお湯を使用するときは手で湯温を確認してから使用する

- 最初に熱いお湯が出ることがあります。また高温で使用直後、すぐに再度出湯する場合には熱いお湯が出ることがあります。やけどのおそれがあります。



必ず行う



高温注意

■入浴時には必ず手で湯温を確認してから入浴する

- おいだき中やおいだき後は、浴そうの上部と下部で湯温に差がある場合があります。十分にかきまぜてから手で湯温を確認してください。やけどのおそれがあります。



必ず行う



高温注意

■おいだき時は、循環アダプタに近づかない

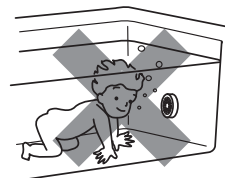
- やけどのおそれがあります。



禁止

■子供を浴そう内で遊ばせない

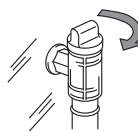
- また、浴そうの循環アダプタ付近に潜ったりしない
- おぼれたり、やけどやけがをするおそれがあります。



禁止

■地震、火災などの緊急の場合は、次の手順に従う

- ① 給湯栓を閉める。
- ② 運転スイッチを「切」にする。
- ③ ガス元栓、給水元栓を閉める。



〔ガス元栓の例〕



〔給水元栓の例〕



必ず行う

■点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用中で消火してしまった場合は、ただちに使用を中止し、ガス元栓を閉める

- 「修理を依頼される前に」〔32〕、〔33〕の項にしたがって処置をする。上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止し、お買い求め先（販売店）に連絡する。



〔ガス元栓の例〕



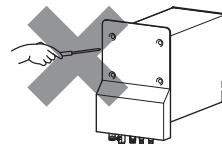
必ず行う

はじめに 安全上のご注意

⚠ 警告

■分解・修理・改造は、自分でしない

- 火災、ガス漏れ、感電、水漏れ、故障の原因になります。



分解禁止

■機器本体やガス接続口・排気口に乗ったり、無理な力を加えない

- けがや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



禁止

■太陽熱温水器には絶対に接続しない

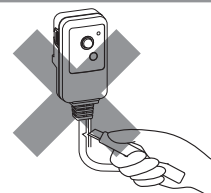
- ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどをするおそれがあります。



禁止

■電源コードを破損させたり、加工したりしない 傷んだまま、束ねたままで使用しない

- 感電や火災の原因になります。



禁止

■漏電ブレーカーは根元まで完全に差し込む

- 差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。
傷んだ漏電ブレーカー、緩んだコンセントは使わないでください。



必ず行う

■漏電ブレーカーのほこりなどは定期的に取り除く

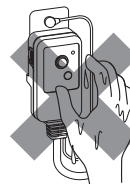
- 漏電ブレーカーにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。漏電ブレーカーを抜き、乾いた布で拭いてください。



必ず行う

■ぬれた手で漏電ブレーカーにさわらない

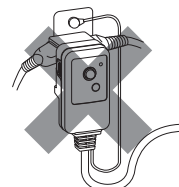
- 感電のおそれがあります。



ぬれた手の接触禁止

■コンセントの定格を超える使い方をしない

- たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

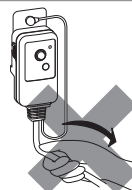


禁止

⚠ 注意

■電源コードを引っばって漏電ブレーカーを抜かない

- 電源コードを引っばると破損して感電や火災の原因になります。



■給湯時は湯水混合栓のハンドル以外に手を触れない

- やけどのおそれがあります。



■給湯・シャワー・おいだき以外の用途には使用しない

- この機器は、給湯・シャワー・おいだき以外の用途には使用しないでください。思わぬ故障や事故の原因となります。



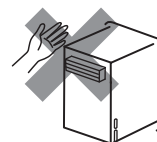
■漏電ブレーカーを抜いて消火しない

- 燃焼中に漏電ブレーカーを抜いて消火しないでください。機器の故障のおそれがあります。



■使用中、使用直後は排気口やケーシングに触れない

- 使用中および使用直後は、機器本体の排気口やケーシングは高温になっていますので絶対に手を触れないでください。特に、小さなお子様がいる家庭では、注意してください。



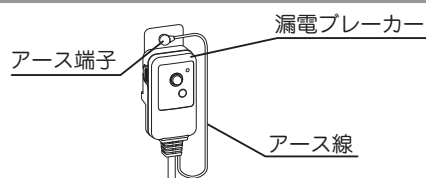
■給気口や排気口に指や棒を入れない

- 給気口や排気口に指や棒を入れないでください。けがや故障の原因となります。



■必ずアースする

- アース線をアース端子に取付けてください。故障や漏電のときに感電するおそれがあります。



はじめに 安全上のご注意

お 願 い

■業務用の用途で使用しない

- この機器は一般家庭用です。業務用には使用しないでください。
著しく機器の寿命が縮まります。

■増改築時には燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないよう設置する

- 変色・破損・腐食の原因となります。

■塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のための空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

- 塀などと機器との間に十分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。
また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。
(機器の点検・修理のための空間については、お問い合わせ先(販売店)または当社窓口へお問い合わせください。)

■設置場所によっては、近隣の家と騒音によるトラブルが生じることがありますので、十分配慮して設置する

■使用時の点火、使用後の消火を確認する

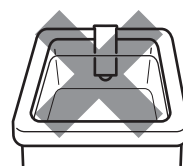
- 機器使用時の点火(リモコンの給湯表示部に  が点灯)、使用後の消火(リモコンの給湯表示部の  が消灯)を確認してください。

■硫黄、酸、アルカリや粉末を含んだ入浴剤及び洗剤を使用しない

- 熱交換器が腐食したり駆動部を磨耗させる原因となるものがあります。
使用するときは、入浴剤や洗剤のご注意文にしたがってください。

■浴そう内の循環アダプタをタオルなどでふさがない

- 循環不良となり、ふろのおいだきができません。
また、タオルの糸くずが機器に吸い込まれて、故障の原因となります。

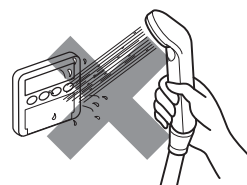


■この機器の付属品・純正部品以外は使用しない

- 機器の異常の原因になることがあります。

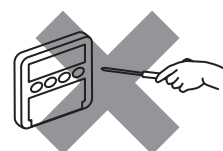
■リモコン清掃時に水をかけない

- リモコンは防水タイプになっていますが、入浴中や、お掃除などで故意に水をかけないでください。故障の原因となります。
お掃除については「点検・お手入れ」[30](#) にしたがって行ってください。



■リモコンを分解しない

- 思わぬ事故や故障の原因となります。



お願い

■機器や配管内に長期間たまった水は飲用や調理に使用しない

- 朝一番などのように長時間たまっていた水は、雑用水としてご使用ください。

■井戸水、地下水、温泉水で使用しない

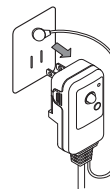
- 水質によっては本体内の配管内部に異物が付着したり、腐食による水漏れの原因になります。その場合は保証期間内でも修理は有料となります。

■断水時には運転を停止し、給湯栓を閉める

- 給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。
- 断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管内にとどまることがあります。
- 断水復帰後は、蛇口から十分水を流してからご使用ください。
- 断水復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理に使用しない。

■雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を中止して漏電ブレーカーをコンセントから抜く

- 故障の原因になります。
雷がやんだ後は、漏電ブレーカーをコンセントに差し込んでください。



電源プラグを抜く

■凍結による破損を防止する

- 機器内部の凍結予防は、「凍結のおそれがあるとき（凍結予防方法）」[\[27\]](#)、[\[28\]](#) にしたがって予防処置をしてください。凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

■積雪で排気口がふさがれているときは使用しない

- 不完全燃焼の原因になります。

■停電のときのご注意

- この機器は電気で作動しますので停電中は使用できません。
- 停電中は全ての動作を停止します。この場合は蛇口からのお湯は水になりますので、停電復帰まで給湯栓を閉めてください。
- 停電復帰後も自動的に運転されませんので、「使用方法」[\[15\]](#)～[\[26\]](#) にしたがって操作してください。
- 停電復帰後は、設定していた温度、保温時間などが工場出荷時の設定になります。

■運転スイッチ「切」の状態でお湯側から水を出さない

- 機器内通水部分の結露により、故障の原因になることがあります。
（シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。）
- ※ 水を流して凍結予防をする場合は、この限りではありません。

■運転中（機器燃焼時）のご注意

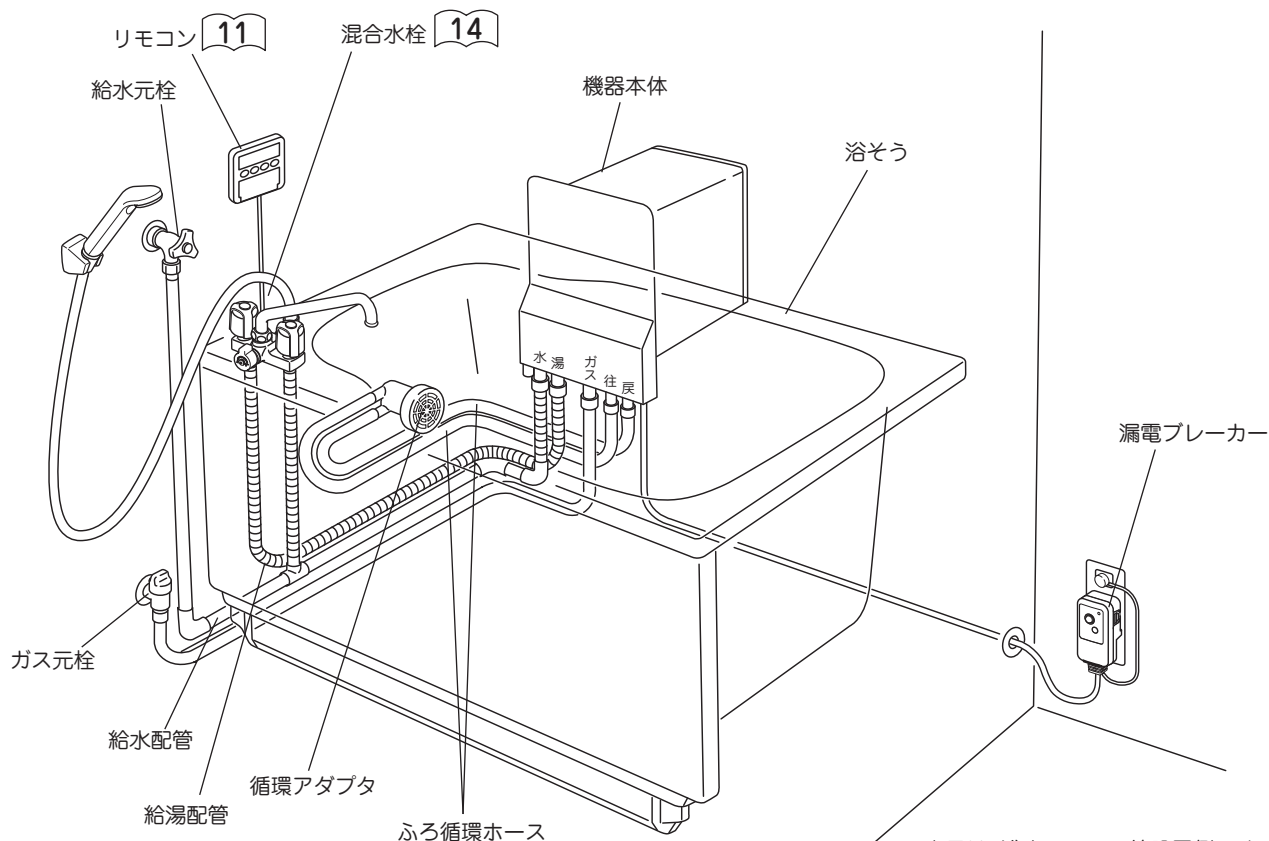
- 機器を使用中は、排気ガスが室内に流入しないよう浴室の窓や機器が設置されている近くの窓を閉めて使用してください。

■長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は、凍結及び万一のガス漏れを防止するため「長期間お湯を使用しないとき」[\[29\]](#) にしたがって処置をしてください。

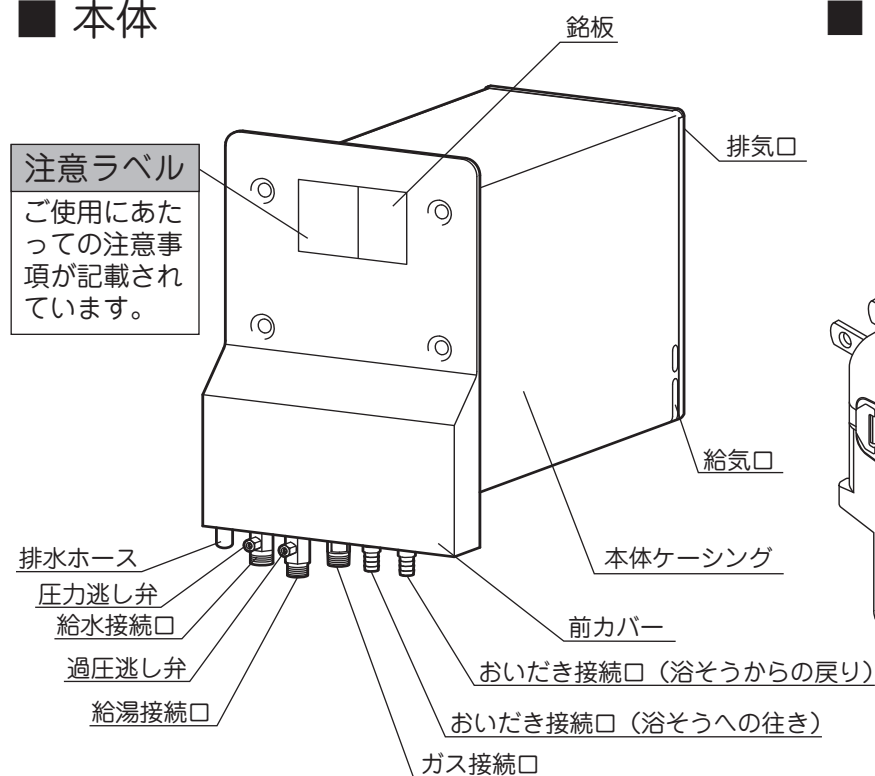
はじめに 各部の名まえとはたらき

■ 標準設置例

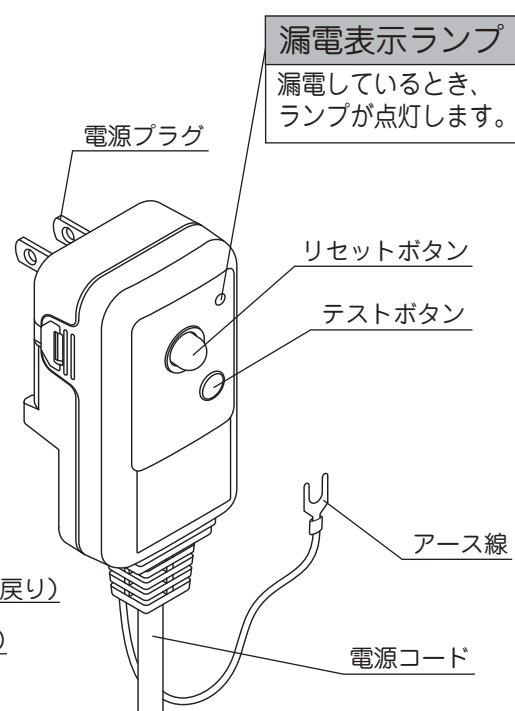


※本図は、浴室のみの配管設置例です。
浴室外へ給湯配管をすれば台所や
洗面所等でもお湯が使用できます。

■ 本体



■ 漏電ブレーカー

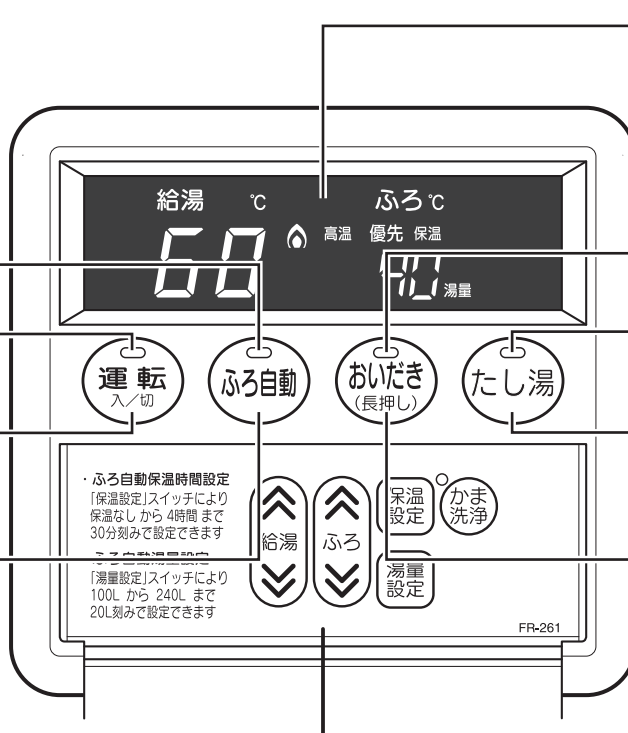


■ 浴室リモコン (FR-261)

※フタを開けた状態

操作部

- ふろ自動ランプ
- 運転ランプ
- 運転スイッチ
運転の「入」・「切」をします。
- ふろ自動スイッチ
お湯はりしておふろを沸かします。 20



表示部

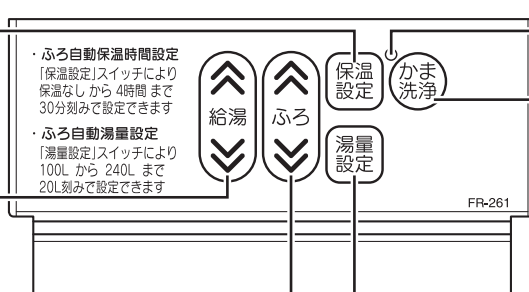
工場出荷時、表示モードは「節電」になっています。操作後、約30分で表示部は消えます。常時点灯したいとき 26

- おいだきランプ
- たし湯ランプ
- たし湯スイッチ
ふろのお湯をたして沸き上げます。
- おいだきスイッチ
ふろのおいだきをします。 23

補助操作部

補助操作部

- 保温設定スイッチ
ふろ自動の保温時間を設定します。 20
- 給湯温度設定スイッチ
給湯温度を設定します。 16
- ふろ温度設定スイッチ
ふろの温度を設定します。 20



- かま洗浄ランプ
- かま洗浄スイッチ
ふろ釜内の残り湯を排出します。 25
- 湯量設定スイッチ
お湯はり湯量を設定します。 19

表示部

※下記の表示は説明のため全て表示したもので、実際の運転状態とは異なります。
※浴室リモコンのみをお使いの場合、優先表示は点灯しません。

- 高温注意表示
- 燃焼表示
- 給湯温度表示
- 優先表示
- 保温表示
- ふろ温度表示
- ふろ湯量表示

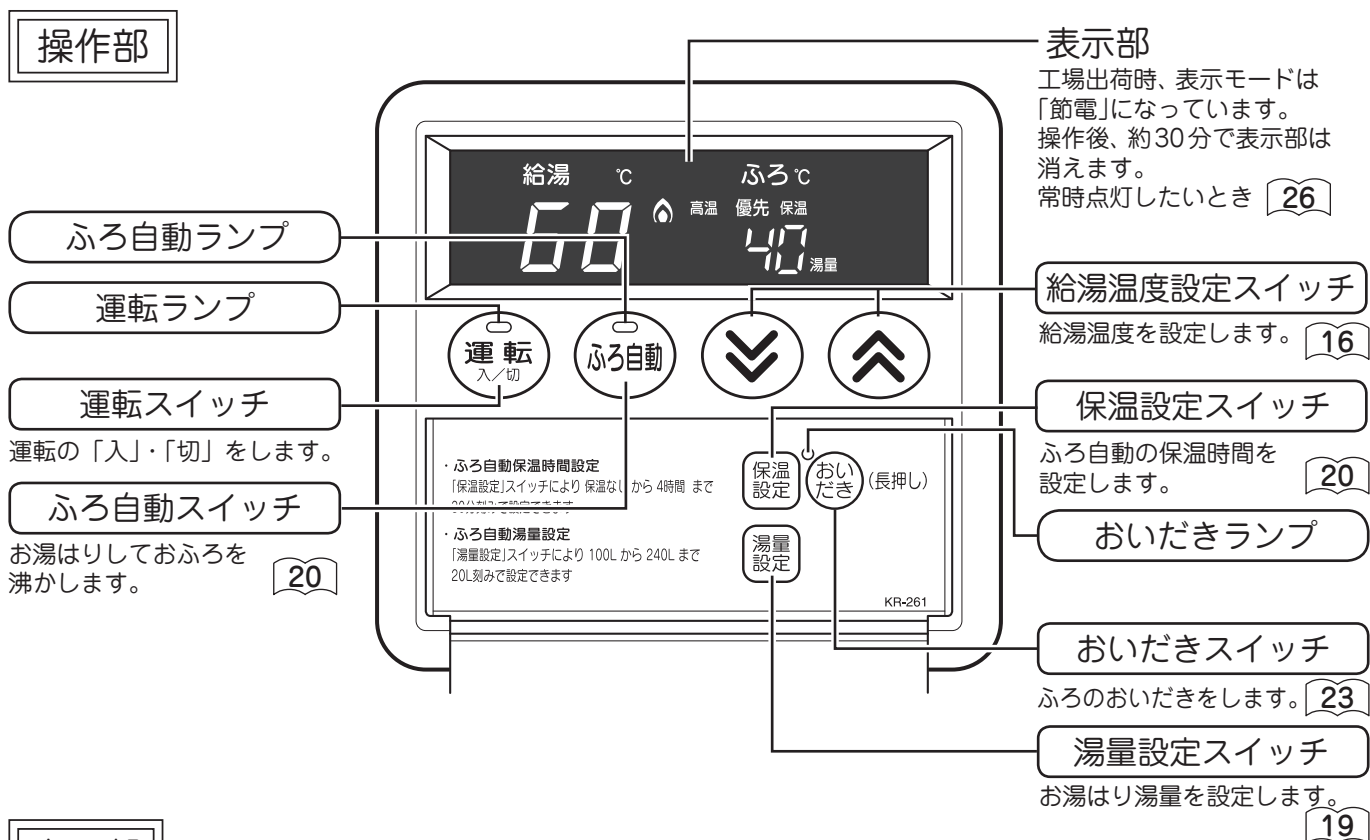
お知らせ

- スイッチを押すと、操作音（ピッ）がしてランプの表示が切替わりますが、手早いスイッチ操作をすると、スイッチが受けつけないことがあります。しっかりと、スイッチを押して、ランプの表示が切替わることを確認してください。
- リモコンフタは開けたままにせず、閉じた状態でご使用ください。

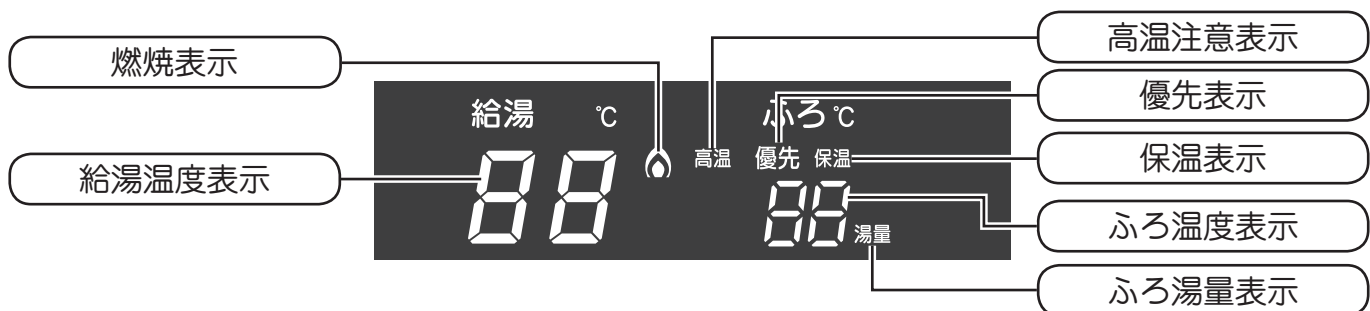
はじめに 各部の名まえとはたらき

■ 台所リモコン（別売部品 KR-261）

※フタを開けた状態



表示部 ※下記の表示は説明のため全て表示したもので、実際の運転状態とは異なります。



お知らせ

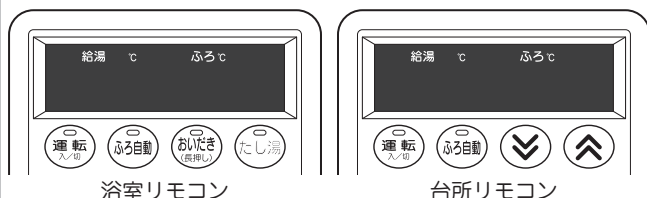
- スイッチを押すと、操作音（ピッ）がしてランプの表示が切替わりますが、手早いスイッチ操作をすると、スイッチが受けつけないことがあります。しっかりと、スイッチを押して、ランプの表示が切替わることを確認してください。
- リモコンフタは開けたままにせず、閉じた状態でご使用ください。

別売部品の台所リモコンと合わせてお使いのときは

- 浴室や台所など機器からお湯を供給するところには、同じ温度のお湯が出ます。
そのため、台所リモコンを接続した場合、給湯温度は **優先** が表示されているリモコンでしか変更できません。(優先権)
使いたいリモコンを「優先」にする場合は次の操作をしてください。
(「運転」スイッチを入れたほうのリモコンが「優先」となります。)

浴室リモコンを「優先」にする場合

運転ランプが消灯しているとき



① 浴室リモコンの **運転** を押す。

- 運転ランプが点灯します。
- 浴室リモコンに **優先** が点灯します。

運転ランプが点灯し、
台所リモコンに **優先** が点灯しているとき

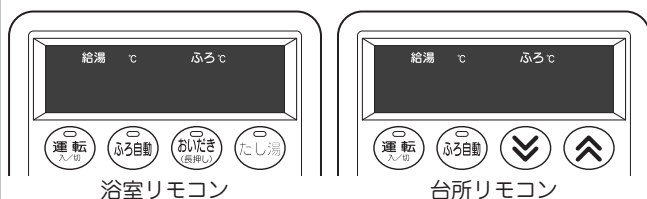


① 浴室リモコンの **運転** を押す。

- 浴室リモコンに **優先** が点灯します。
- このとき、台所リモコンの **優先** は消灯します。

台所リモコンを「優先」にする場合

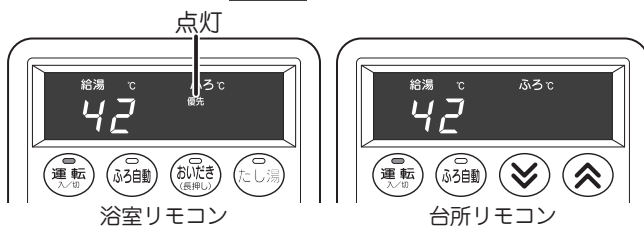
運転ランプが消灯しているとき



① 台所リモコンの **運転** を押す。

- 運転ランプが点灯します。
- 台所リモコンに **優先** が点灯します。

運転ランプが点灯し、
浴室リモコンに **優先** が点灯しているとき



① 台所リモコンの **運転** を押す。

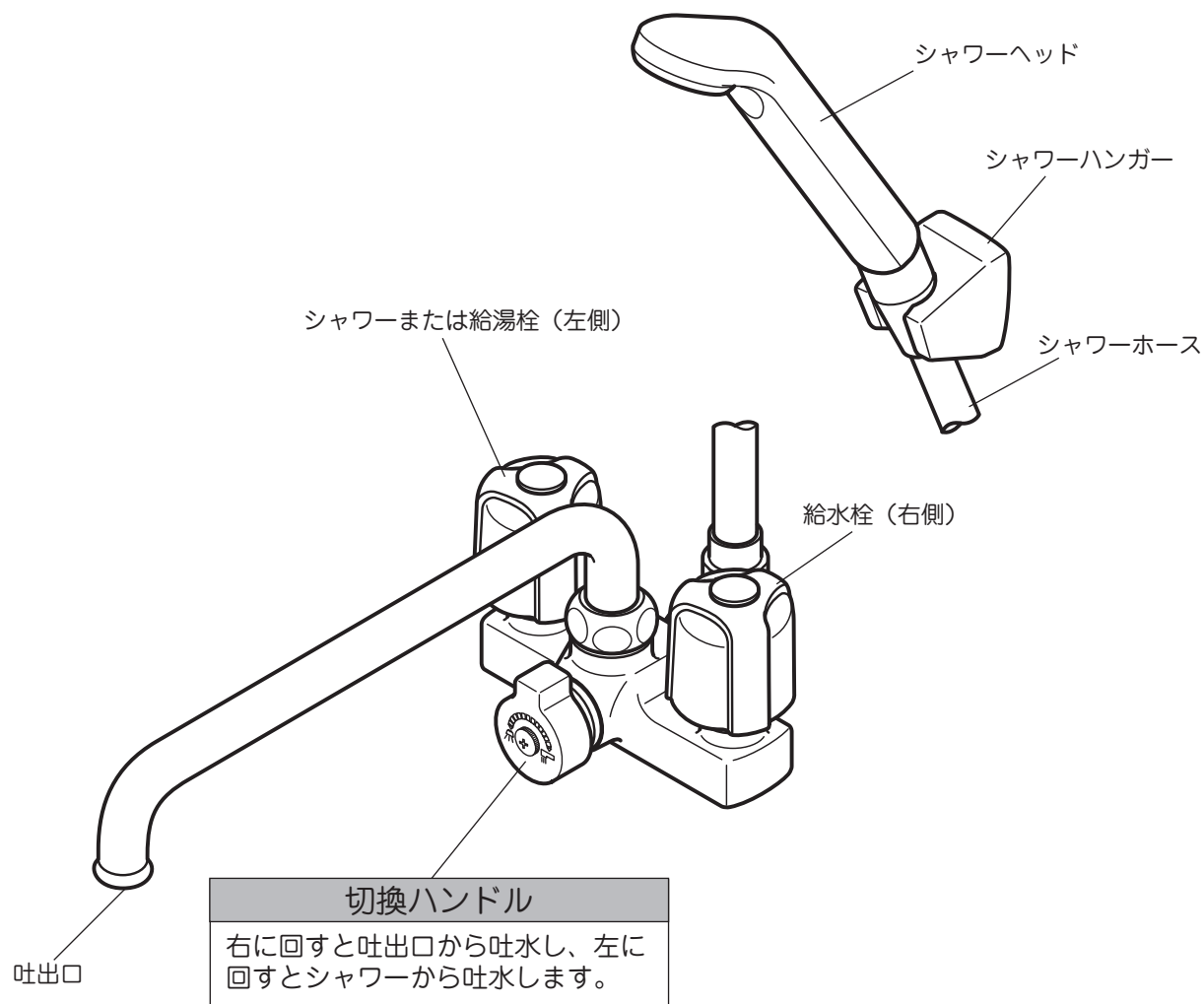
- 運転ランプが消灯します。
- ② 再度、台所リモコンの **運転** を押す。
- 運転ランプが点灯します。
 - 台所リモコンに **優先** が点灯します。

このとき、浴室リモコンの **優先** は消灯します。

⚠ シャワー等お湯を使用中切替えないでください。

はじめに 各部の名まえとはたらき

■ 混合水栓



※ 取扱いについては、混合水栓に同梱の取扱説明書をお読みください。

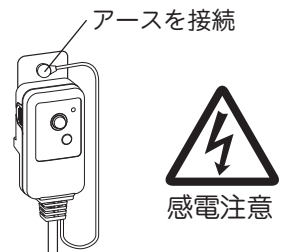
※ 混合水栓の故障修理についてはお買い求め先（販売店）または、混合水栓の取扱説明書に記載の連絡先へご連絡ください。

使用方法 初めてお使いいただくときは

使用前の準備と確認

○初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1. 給水栓をいっばいに開ける。
2. 給湯栓、シャワー栓を開けて水が出ることを確認後、給湯栓、シャワー栓を閉める。
3. ガス元栓を全開にする。
4. 漏電ブレーカーを根元まで確実にコンセントに差し込む。
5. アース線をアース端子に取付ける。
6. ポンプの呼び水をする。(浴室リモコンで操作)



① **運転** (入/切) を押す。

「運転ランプ」が点灯します。

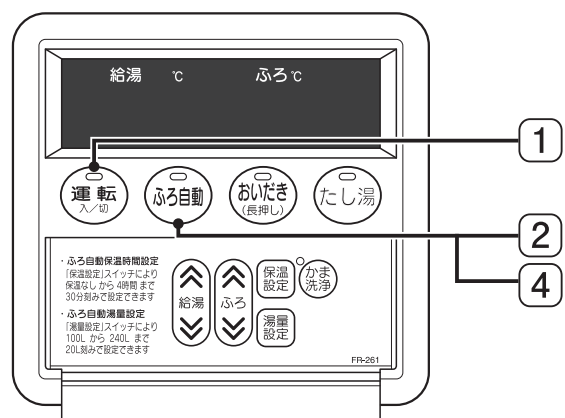
② **ふろ自動** を押す。

「ふろ自動ランプ」が点灯します。

③ 浴そうの循環アダプタからお湯が出てくることを確認します。

④ **ふろ自動** を押す。

「ふろ自動ランプ」が消灯します。

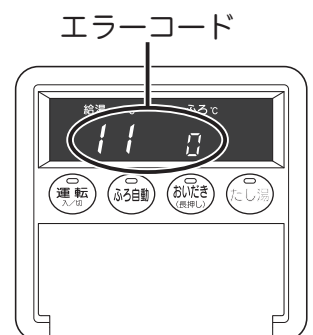


お知らせ

- 停電復帰後、電源投入(再投入)時は、設定していた温度、保温時間などが工場出荷時の設定になります。

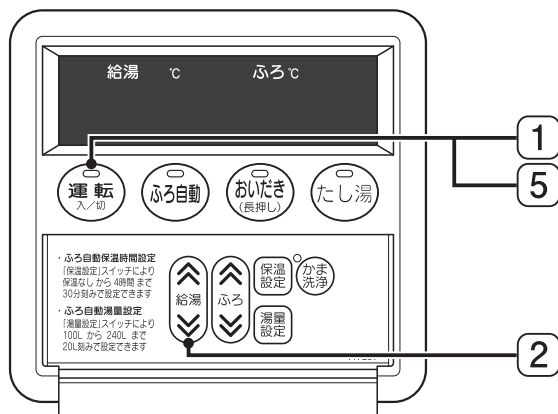
エラーコード 110 が表示したら

- はじめてご使用になるときなどは、ガス配管中に空気が残っていて点火しないことがあります。この場合、リモコンの運転ランプが点滅し、さらに表示部にエラーコード 110 が点滅し不着火をお知らせします。このような場合は、いったん給湯栓またはシャワー栓を閉じ、**運転** (入/切) を押してエラーを解除し、再度 **運転** (入/切) を押し、給湯栓を開ける操作を2～3回繰り返してください。



使用方法 お湯を使う（温度設定）浴室リモコンでの操作

- シャワーや給湯の温度をお好みの温度に設定します。
（工場出荷時の設定は 42℃です。）



1 運転を押す。

- 運転ランプが点灯します。
- 給湯温度が点灯します。

給湯 ℃ ふろ ℃
42 優先

2 給湯で温度を変更する。

- 温度は次のように設定できます。
37～50℃（1℃刻み）、60℃
60℃に設定すると **高温** が点滅し、高温設定音「ピーピッ
ピッピッ」でお知らせします。
- ◆ スイッチは1回押すたびに、1℃ずつ調節できますが、
⌂ を押し続けると 45℃までは連続で変わります。

点滅
給湯 ℃ ふろ ℃
60 高温 優先
[60℃設定の状態]

3 シャワー栓または給湯栓を開ける。

- 燃焼を開始し、**点灯** が点灯します。
- しばらくしてお湯が出ます。

点灯
給湯 ℃ ふろ ℃
42 優先

お湯を止めたいときは

4 シャワー栓または給湯栓を閉める。

- 燃焼が止まり、**点灯** が消灯します。

給湯 ℃ ふろ ℃
42 優先

5 運転を押す。

- 運転ランプが消灯します。
- 給湯温度が消灯します。

給湯 ℃ ふろ ℃

シャワー・給湯の湯量が少ない（低水圧）のときは

- 給水圧力が低く、給湯栓を全開にしても十分な湯量が得られない場合は、混合水栓で湯と水をミキシングして使用することをおすすめします。
この場合、湯温を 60℃ に設定して使われることをおすすめします。

- ◆湯と水をミキシングして使用するとき、湯温調節が難しい場合があります。
このとき、給湯栓は全開で固定し、水の量で湯温を調節すると比較的やさしく調節できます。



警告

■やけどに注意する

- ◆湯温を確認してから使用してください。

■混合水栓使用時のご注意

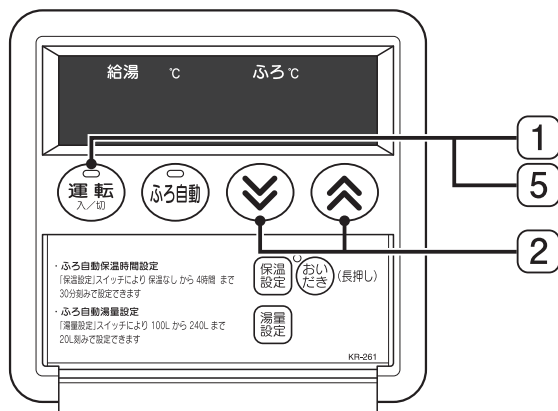
- ◆高温で使用中は、水栓本体が熱くなりますので注意してください。
- ◆高温で使用了後、またすぐに出湯する場合には、熱いお湯がでるおそれがありますので、安全のため水を混ぜて残り湯を流してください。

お知らせ

- ◆お湯の温度は季節や配管の施工状態により異なります。リモコンでの設定は目安としてお使いください。
- ◆一度設定した温度は変更するまで記憶しています。
設定した温度が 60℃ の場合は、 を押し（切の状態）、次に  を押したとき（入の状態）安全のため 42℃ に変更されます。
- ◆お湯の使い始めはしばらくの間、配管内の冷たい水がでます。
お湯が出るまでの時間は、配管の長さによって異なります。
- ◆水からの沸かし直し（おいだき運転）をしているときに、給湯やシャワーを使用するなど給湯能力を超えた場合、十分な湯量や湯温が得られないことがあります。
- ◆夏期など給水温度が 30℃ 近くなりますと、低温に設定しても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯栓をさらに開けて湯量を多く出さか、混合水栓の給水栓を開けて湯と水を混ぜて使用してください。
- ◆おいだき（保温）後にお湯を使った場合、おいだきの燃焼であたためられた機器内の水を出す間、しばらく燃焼しないことがあります。
- ◆トイレの水を流したりし、給水圧が変化した場合、一時的に湯温が変動することがあります。
- ◆**優先** が点灯しているリモコンでお湯の温度調節ができます。
使いたいリモコンを **優先** にする場合は **13** を参照して下さい。
- ◆浴室リモコンのみでご利用の場合は **優先** は点灯しません。

使用方法 お湯を使う（温度設定） 台所リモコンでの操作

- シャワーや給湯の温度をお好みの温度に設定します。
（工場出荷時の設定は 42℃です。）



1 運転を押す。

- 運転ランプが点灯します。
- 給湯温度が点灯します。

給湯 °C 42 優先

2 温度を変更する。

- 温度は次のように設定できます。
37 ~ 50℃ (1℃刻み)、60℃
60℃に設定すると **高温** が点滅し、高温設定音「ピーピッ
ピッピッ」でお知らせします。
- ◆ スイッチは 1 回押すたびに、1℃ずつ調節できますが、
Ⓐ を押し続けると 45℃までは連続で変わります。

点滅
給湯 °C 60 高温 優先
[60℃設定の状態]

3 シャワー栓または給湯栓を開ける。

- 燃焼を開始し、**点灯** が点灯します。
- しばらくしてお湯が出ます。

点灯
給湯 °C 42 優先

お湯を止めたいときは

4 シャワー栓または給湯栓を閉める。

- 燃焼が止まり、**点灯** が消灯します。

給湯 °C 42 優先

5 運転を押す。

- 運転ランプが消灯します。
- 給湯温度が消灯します。

給湯 °C 優先

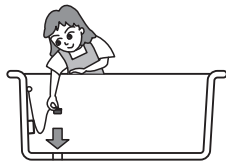
使用方法 ふろ自動運転

- 設定したふろ温度・湯量で「ふろ自動」運転をします。
(工場出荷時の設定は40℃、140リットルです。)

運転前の準備と確認

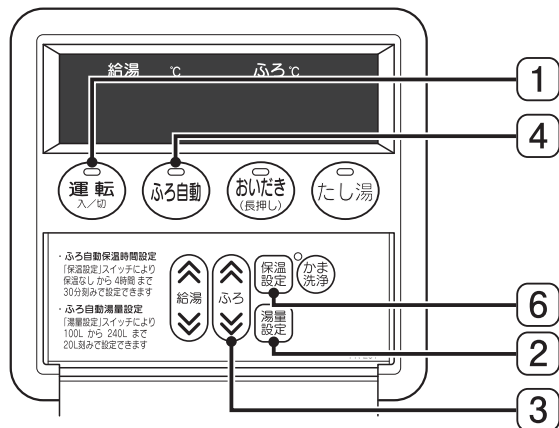
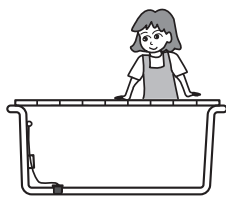
1

排水栓を閉めます。
お風呂を沸かす前に
必ず排水栓を閉めます。



2

浴そうにふたをします。
この機器は浴そうに
ふたをしたまま
お湯はりができます。

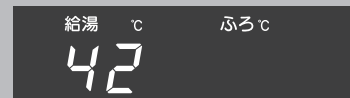


1



を押す。

- 運転ランプが点灯します。
- 給湯温度が点灯します。

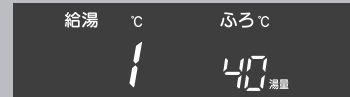


2



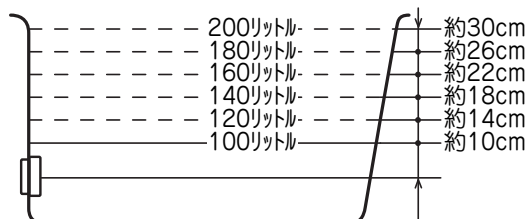
でお湯はり湯量を設定します。

- 湯量は次のように設定できます。
100～240リットル 8段階 (20リットル刻み)
- ◆ **湯量設定** を押すたびに、20リットルの8段階まで選べます。
一度設定すれば記憶します。
- 最後に **湯量設定** を押した後、約5秒後設定音「ピッピッピ」でお知らせします。
- ◆ 設定値を変更しなかった場合は、確認音「ピッ」が鳴ります。
- ◆ 湯量の目安は専用浴そうの場合、循環アダプタの中心から上方約10cmから約4cm (20リットル) きざみの8段階となっています。
- ◆ 湯量設定を多くすると浴そうによっては、あふれる場合があります。



[湯はり湯量 140リットル表示の場合]

湯量設定最大240リットル



湯量設定の目安

3 3でふろ温度を変更する。

- 温度は次のように設定できます。
37～48℃(1℃刻み)
- ◆ スイッチは1回押すたびに、1℃ずつ調節できますが、
Ⓐを押し続けると45℃までは連続で変わります。

4 4を押す。

- ふろ自動ランプ、Ⓐが点灯し、自動的にお湯はりが開始されます。

5 5沸き上がると自動でストップ。

- おふろの設定湯量までお湯はりを完了すると、お湯が止まり、沸き上げ運転に入ります。
- Ⓐが点灯し、ふろ自動の設定温度まで沸き上げます。
- 沸き上げ終了後、Ⓐが消灯し、保温が点灯し、沸き上げ完了音「ピーピーピー」でお知らせします。
- ◆ 別売部品の台所リモコンと合わせてお使いの場合、台所リモコンからも「ピーピーピー」と音が鳴ります。
- ◆ 保温が点灯(初回の沸き上げ完了)するまでⒶ(お湯はり)は受け付けません。

6 6を押して保温時間を設定する。

- 表示部に保温時間が点灯し、保温が点滅します。
- ◆ 6を押さずに5秒間操作しない状態が続くと、音「ピッ」でお知らせし、元の表示に戻ります。
- 6を1回押すたびに時間が次のように変わります。



- 最後に6を押した後、約5秒後設定音「ピッピッピッ」でお知らせし、保温が3秒間点灯します。

7 7自動保温運転となります。

- お湯の温度が下がったら、自動であたためます。
- 初回の沸き上げ完了から、設定した保温時間が経過すると、4のふろ自動ランプが消灯し、自動運転を終了します。
- 途中で、5(運転)または4(ふろ自動)を押すと、自動運転を停止します。



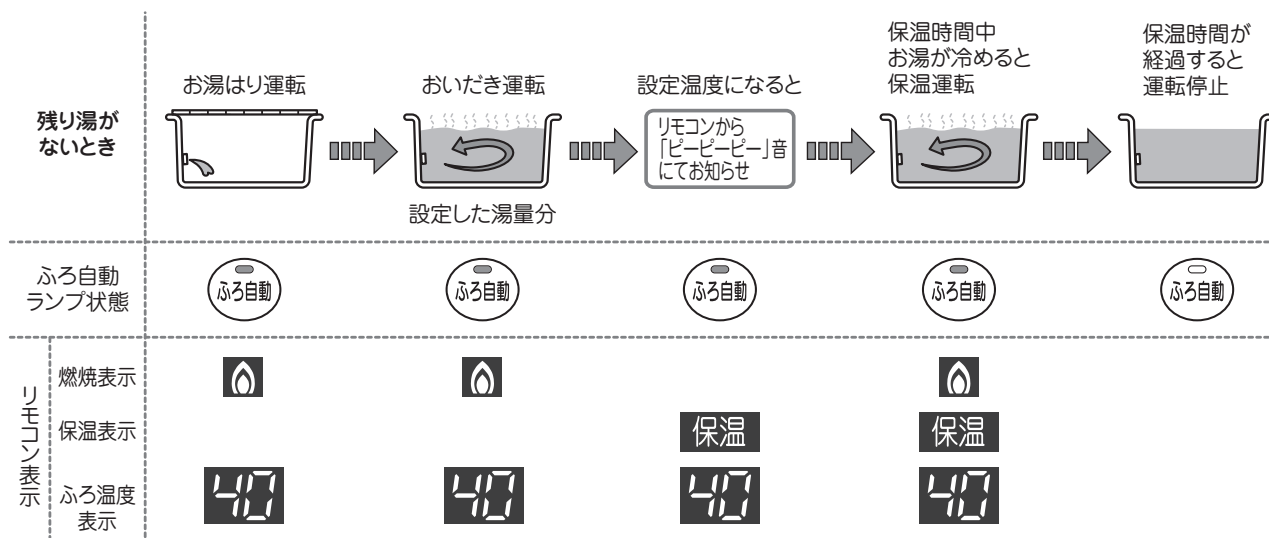
[保温時間 0 分表示の場合]



[保温時間 1 時間 30 分表示の場合]



ふろ自動(保温)運転 [設定温度 40℃の場合]



- ◆ ふろ自動運転中、保温運転中は、 ランプが点灯します。
- ◆ **保温** 点灯中に を押すと、保温運転の残り時間を表示します。

お知らせ

- ◆ 保温中は約20分毎にポンプがまわり湯温を検知し、設定温度より湯温が下がっていると自動的に設定した温度までおいだきします。このとき、表示部の が点灯します。
- ◆ 保温中にふろ自動の設定温度を変えると、その温度に沸き上げることができます。ただし、浴そうの湯温より低めに設定を変えても、浴そうの湯温はそのままです。この場合、一時的にポンプがまわり、燃烧することがありますが異常ではありません。
- ◆ 自動保温機能は、初回の沸き上げ完了から設定した保温時間作動します。
- ◆ 保温運転中に を押せば、さらにたっぷりのお湯で入浴できます。
- ◆ 電源投入時または停電復帰後のふろ自動の温度は40℃、保温時間は4時間設定、お湯はり湯量は140リットルとなっています。
- ◆ リモコン表示部に保温が点灯中は 、 のいずれかのスイッチを押しても自動保温は解除されません。
- ◆ 自動お湯はり中でも給湯栓を開けるとお湯を使用することができます。給湯栓を開けると給湯温度は給湯温度表示部に表示された温度となります。
この時、お湯はり、いったん停止します。給湯使用が終わるとお湯はりを再開します。
※給湯を使用した時間だけ、お湯はり時間は長くなります。
- ◆ 配管によっては、給湯栓からのお湯が出にくいことがあります。
- ◆ 冬季など入水温度が低い場合は表示の温度より低いことがあります。

残り湯を沸かし直す

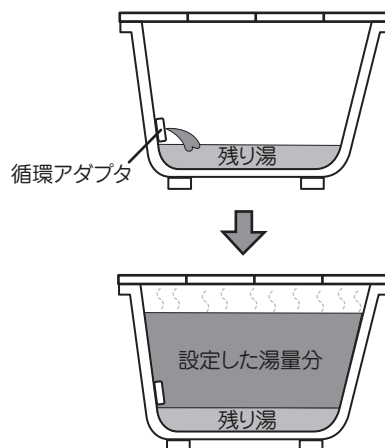
循環アダプタより下に残り湯があるとき

1  を押します。

■ 設定した湯量分お湯はりを行います。

2 沸き上がると自動でストップします。

※沸き上がり湯量は、残り湯の量だけ増えます。



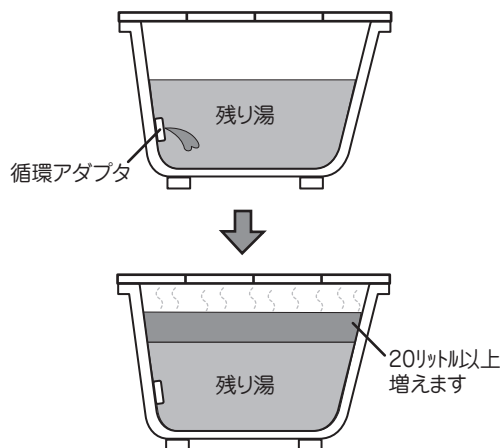
循環アダプタより上に残り湯があるとき

1  を押します。

■ 20 リットル以上お湯はりを行います。

2 沸き上がると自動でストップします。

※沸き上がり湯量は、設定湯量より少なかったり、残り湯量によっては、浴そうからあふれる場合があります。



お知らせ

- ◆ 湯量を増やさずに沸かし直しをしたい場合は、「おいだきをする」[\[23\]](#)の操作で沸かし直しをしてください。
- ◆ 残り湯を沸かし直す場合は、ふろ自動で初めからお湯はりするよりも、沸き上がり時間が長くなります。(残り湯の湯温によって異なります)
- ◆ 設定したふろ湯量どおりに沸き上がらない場合は、「次のことをお調べください」[\[32\]](#)を参照ください。

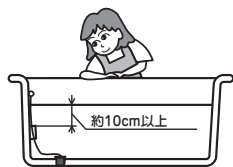
使用方法 おいだきをする

○水やぬるくなったお湯を設定温度になるようおいだき運転を行います。

運転前の準備と確認

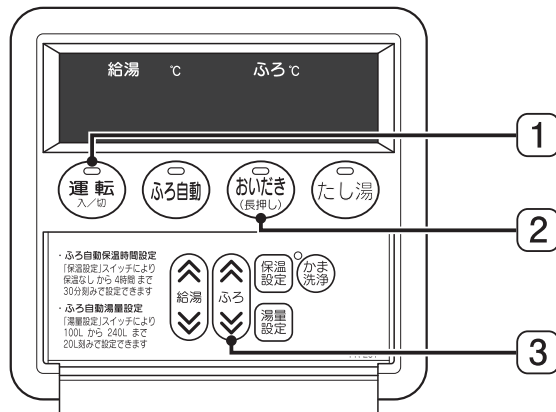
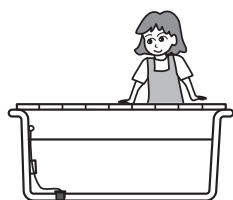
1

浴そうにお湯(水)が入っていることを確認します。



2

浴そうにふたをします。



1

運転 を押す。

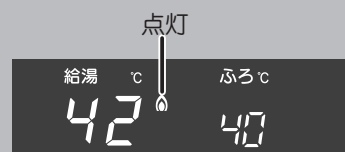
- 運転ランプが点灯します。
- 給湯温度が点灯します。



2

おいだき (長押し) を長押しする。

- おいだきランプが点灯し、ふろ温度が点灯します。
- 燃烧を開始し、 が点灯します。
- 浴そう内のお湯(または水)が循環し、おいだき運転を始めます。



3

ふろ でおいだき温度を変更する。

- 温度は次のように設定できます。
37 ~ 48°C (1°C刻み)
- ◆ スイッチは1回押すたびに、1°Cずつ調節できますが、 を押し続けると45°Cまでは連続で変わります。



4

沸き上がると自動でストップ。

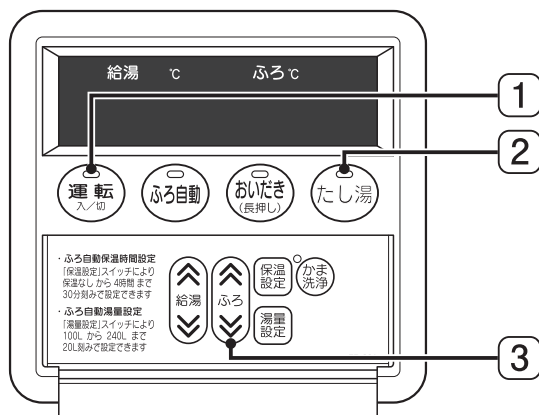
- 途中でやめるときは、もう一度 **運転** または **おいだき (長押し)** を押す。
- 表示部の が消灯します。
- 【台所リモコンでおいだきした場合】
- 沸き上げ完了音「ピーピーピー」でお知らせします。



お知らせ

- ◆ おいだき温度は記憶されません。次回のおいだき運転開始時のおいだき温度は、ふろ自動の温度になります。
- ◆ おいだきをする場合、おいだき温度を浴そうの湯温より低めに設定しても浴そうの湯温はそのままです。この場合、一時的に機器本体内のポンプが作動し燃烧することがありますが、異常ではありません。

- 設定温度のお湯を浴そう循環アダプタから約20リットルたし湯[注湯]して、浴そうの湯量を増やします。



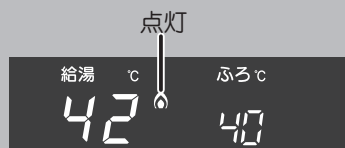
1 運転を押す。

- 運転ランプが点灯します。
- 給湯温度が点灯します。



2 たし湯を押す。

- たし湯ランプが点灯し、ふろ温度が点灯されます。
- 浴そうの循環アダプタから、お湯(約20リットルのたし湯[注湯])が出て、 が点灯します。



3 温度でたし湯温度を変更する。

- 温度は次のように設定できます。37～48°C(1°C刻み)
- ◆スイッチは1回押すたびに、1°Cずつ調節できますが、 を押し続けると45°Cまでは連続で変わります。
- ◆たし湯温度を変更してもふろ自動温度は変更されません。



4 たし湯温度まで沸き上げ。

- 約20リットルの注湯が終了すると、たし湯の設定温度までおいただきます。



5 沸き上がると自動でストップ。

- 途中でやめるときは、もう一度 または を押す。
- 表示部の が消灯します。



お知らせ

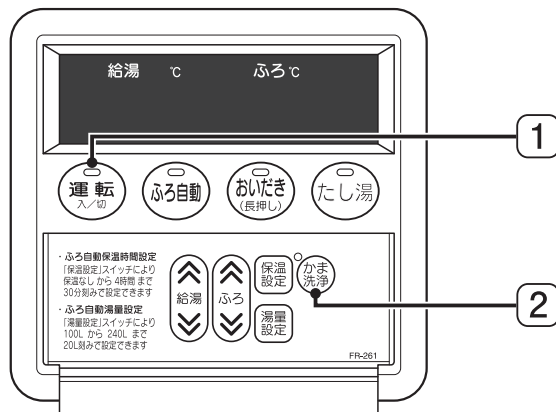
- ◆たし湯温度は、記憶されません。次のたし湯運転開始時のたし湯温度は、ふろ自動の温度になります。
- ◆たし湯中に台所やシャワーなどで給湯を使用すると、たし湯運転を中断し、給湯温度で給湯します。給湯使用が終わるとたし湯運転を再開します。
- ◆たし湯中に 、 、 、 を押すと、たし湯運転を終了します。

○ふろ釜内の残り湯をきれいな水で押し流します。

運転前の準備と確認

1

排水栓を抜いて、
浴そう内の水を排水
します。



1

運転 を切る。

- 運転ランプが消灯します。
- リモコン画面が消えます。

給湯 °C ふろ °C

2

かま洗淨 を押す。

- かま洗淨ランプが点灯し、約4L注水し、ふろ釜内の残り湯をきれいな水で押し流します。
- 注水が完了すると約20秒間循環用ポンプが作動し、ふろ釜内の残水を排出します。

点灯

保温
設定

湯量
設定

「かしこい」おふろ掃除



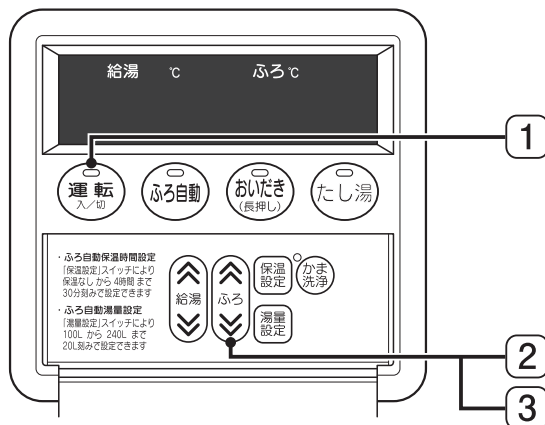
1. おふろの排水栓を抜いて、浴そうを空にします。
2. **かま洗淨** を押してふろ釜内に残った浴そう水を排出します。
3. 浴そうのお掃除をはじめます。
4. 浴そうの排水栓を閉めます。

お知らせ

- ◆ かま洗淨運転は、ふろ釜内の残り湯をきれいな水で押し流し排出する機能です。こびり付いた湯あかなどは洗淨できません。
- ◆ かま洗淨運転時は、台所やシャワーなどの給湯栓は閉めてください。充分な排出ができないことがあります。
- ◆ かま洗淨運転中に **運転**、**かま洗淨** を押すと、かま洗淨運転を終了します。
- ◆ 使用水圧の違いにより、かま洗淨ランプが点灯してから排水が完了するまでに時間がかかる場合があります。
- ◆ 長期間おふろを使用しなかった場合は、かま洗淨運転をしてからお使いください。

表示画面のモードを切替える

- 運転入り状態表示画面のモードを節電モード⇔常時点灯モードに切替えができます。
(工場出荷時の設定は節電モードです。)



1 運転を押す。

- 運転ランプが点灯します。
- 給湯温度が点灯します。

給湯 °C ふろ °C
42 優先

2 上下の上下を同時に約3秒間押す。

- 切替え音「ピッピッピッ」でお知らせします。
- 節電モードから常時点灯モードに切替わります。
- 給湯温度が常時点灯します。

給湯 °C ふろ °C
42 優先

3 もう一度節電モードにする場合は、上下の上下を同時に約3秒間押す。

- 切替え音「ピッピッピッ」でお知らせします。
- 常時点灯モードから節電モードに切替わります。
- 給湯温度が約5秒後に消灯します。

給湯 °C ふろ °C

お知らせ

- ◆ 通常は、節電モードをおすすめします。
- ◆ 節電モードでは、30分間操作しないと画面表示が消灯します。
消灯中にお湯を使ったり、スイッチを押すと点灯します。
- ◆ 電源投入時または停電復帰時は節電モードになります。
- ◆ 台所リモコンをお使いの場合は、台所リモコンの表示モードも変更されます。
- ◆ 節電モードでも給湯設定温度が60°Cに設定されている場合、安全のため画面表示は消灯しません。

このようなときは 凍結のおそれがあるとき（凍結予防方法）

○冬期は寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結がおこることがあります。

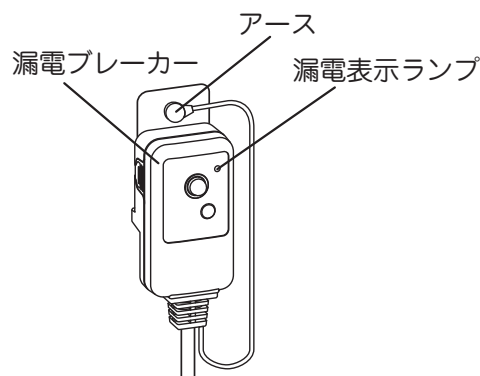
次のいずれかの方法で予防処置をとってください。

1. 通常の寒さのときの予防方法

凍結予防ヒーターによる方法

漏電ブレーカーを抜かない

- ◆ 抜けていると凍結予防ヒーターが作動しません。
- ◆ 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯している場合は凍結予防ヒーターが作動しません。
漏電している可能性もありますのでリセットボタンを押して確認してください。 31



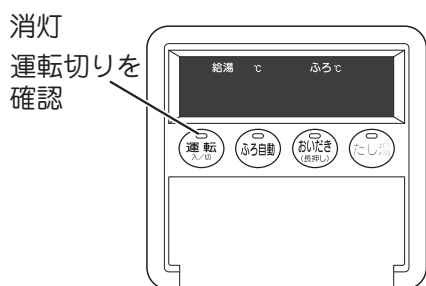
お知らせ

- ◆ この機器は気温が下がってくると自動的に機器内を保温し凍結を予防するヒーターが組込まれています。通常は、漏電ブレーカーをコンセントに入れた状態にしておけば機器内の凍結は予防できます。
- ◆ 凍結予防ヒーターは、リモコンのスイッチ操作に関係なく働きます。
- ◆ ヒーターで凍結を予防できる気温の条件は、無風時 -15°C まで、有風（ 4 m/秒 ）時 -10°C までです。気温がこれ以下になる時は、通水による方法や水抜き処置によって、凍結予防をしてください。
- ◆ ヒーターは、機器内の保温はしますが、配管やバルブ類の凍結予防はできません。
- ◆ この機器は外気温が -15°C 以下になる場合には、凍結予防のために水抜き処置が必要です。 28

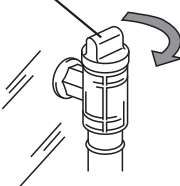
2. 冷え込みの厳しいときの予防方法

通水による方法（給湯側）

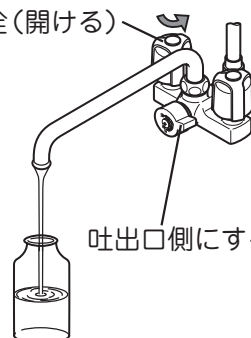
- ① リモコンが運転「切」（運転ランプ消灯）になっていることを確認する。
 - ② ガス元栓を閉める。
 - ③ お風呂場の給湯栓を開けて、1分間に400cc（牛乳びん2本分）ぐらいの水を浴そうに流し込む。
- ◆ 流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。



ガス元栓を閉める



給湯栓（開ける）



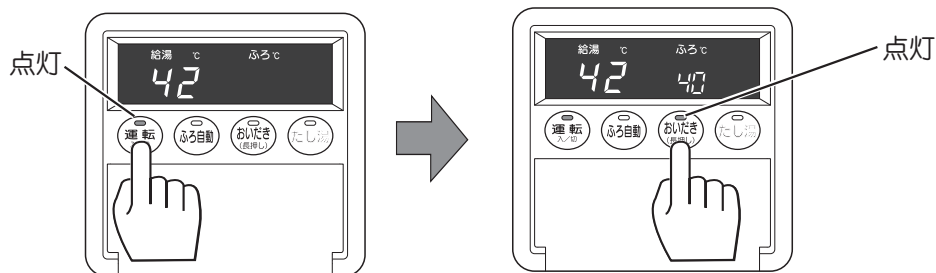
このようなときは 凍結のおそれがあるとき（凍結予防方法）

ポンプの水抜きによる方法（おいだき側）

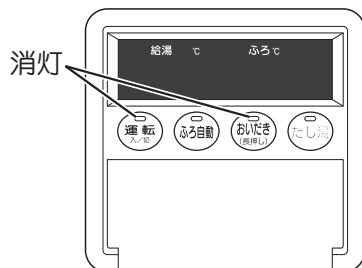
① 浴そうの水を排水する。

②  を押し（「入」の状態）、 を押す。

◆ 循環アダプタから水を排出します。このときポンプの音が大きくなりますが、ふろ循環ホース内の水を排水していますので異常ではありません。



③ 循環アダプタから水の排出が無くなったら  を押す（「切」の状態）。



◆ 水の排出が無くなるとエラーコード 252 を点滅表示することがありますが、異常ではありません。

 を押してください。

※ これらの処置をしても凍結するおそれがある場合は、水抜き [29](#) [長期間お湯を使用しないとき] を行ってください。

お知らせ

- ◆ 凍結により、給湯栓・シャワー栓・循環アダプタから水が出ないときは、使用しないでください。
- ◆ 凍結したままで使用しますと、機器に異常が生じ危険です。
- ◆ 再度使用する場合は、ガス元栓、給湯・シャワー栓を閉め、解凍するのを待ちます。解凍して、通水したあと、本体や配管から水漏れがないことを確かめてからご使用ください。
- ◆ 凍結により、機器が破損した場合、高額の修理費用がかかります。（有料）
- ◆ 万一、機器や配管から水漏れするなどの異常がある場合は、ガス元栓、給水元栓を閉め、浴そうの排水栓を抜いてから、お買い求め先（販売店）または当社窓口へご連絡ください。

このようなときは

長期間お湯を使用しないとき

○長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

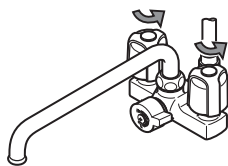
① ガス元栓を閉じる。



② 給水元栓を閉じる。



③ 給水栓、給湯栓を開ける。

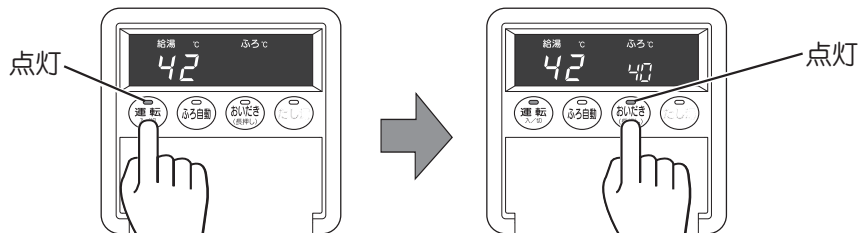


④ 水抜栓を外し、配管内の水が抜けたら元通りにする。
(給水、給湯配管に水抜栓がある場合)

⑤ 浴そうの水を排水する。

⑥  を押し(「入」の状態)、 を押す。

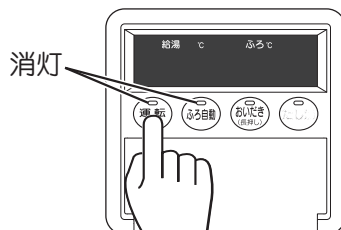
◆循環アダプタから水を排出します。このときポンプの音が大きくなりますが、
ふろ循環ホース内の水を排水していますので異常ではありません。



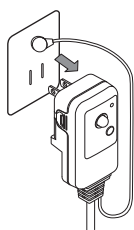
⑦ 循環アダプタから水の排出が無くなったなら  を押す(「切」の状態)。

◆水の排出が無くなるとエラーコード 252 を点滅表示することがありますが、
異常ではありません。

 を押してください。



⑧ 漏電ブレーカーをコンセントから抜く。



●再使用については「初めてお使いいただくときは」[15](#)にしたがってください。

必要なときに 点検・お手入れ

⚠ 注意

■ お手入れの前には、ガス元栓・給水元栓を閉め、機器が冷えてから行う

- 機器使用中および使用終了直後は、排気口や機器本体が高温になっていますので、やけどするおそれがあります。



■ 機器やリモコンは、絶対に分解しない

- 火災、ガス漏れ、感電、水漏れ、故障の原因になります。



点検のポイント

- 機器の上やまわりに燃えやすいものはありませんか。 **4**
- 給気口・排気口が布やビニールなどでふさがっていませんか。
- 機器や配管から水漏れしているような様子はありませんか。
- ガスのにおいはしませんか。 **3** ガス漏れに気づいたとき
- 運転中に機器から異常音が聞こえませんか。 **5**
- 機器の外観に異常は見られませんか。
- 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。 **31** 漏電ブレーカーの点検



お願い

機器外観やリモコンのお掃除をされる時は、布またはスポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけて拭きとったあと、からふきします。

- ◆ ミガキ粉やタワシなど固いものでこすらないでください。
傷がついて、塗装がはがれたり腐食の原因になります。
- ◆ シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。
前カバー、リモコン等は変色、変形、塗装のはがれのおそれがあります。
- ◆ リモコンケースには故意に湯水や洗剤をかけないでください。
リモコンの故障の原因になります。
- ◆ 循環アダプタのお手入れには、塩素系洗剤は使用しないでください。
変色、変形のおそれがあります。
- ◆ 浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。
湯あかが残っていると、銅イオンと化合して青く変色することがあります。



■漏電ブレーカーの点検

● 漏電ブレーカーが正しく作動することを確認するため、次の操作を行ってください。

- ① テストボタンを押します。 →漏電表示ランプが点灯します。
- ② リセットボタンを押します。 →漏電表示ランプが消灯します。

● 月に1回以上の作動確認を行ってください。

※ 正しく作動しないときは、機器の使用を止め、漏電ブレーカーを抜いて、
お買い求め先（販売店）または当社窓口へご連絡ください。

※ 点検の前に漏電表示ランプが点灯しているときは、リセットボタンを
押してください。

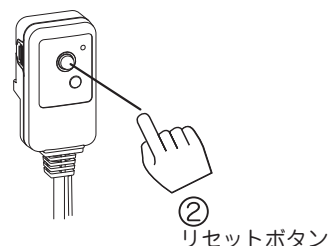
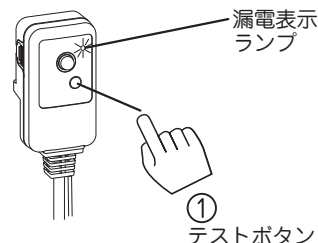
再び漏電表示ランプが点灯するようでしたら漏電ブレーカーを抜き、
お買い求め先（販売店）または当社窓口へご連絡ください。

※ 作動確認後は設定していた温度、湯量、保温時間、画面表示などが
工場出荷時の設定になります。

- ・ 給湯温度 42℃ ・ 湯はり湯量 140 リットル
- ・ ふろ自動温度 40℃ ・ おいだき温度 40℃
- ・ 保温時間 4：00 ・ 画面表示 節電モード



必ず行う



■循環アダプタのお手入れ

● 循環アダプタの汚れや詰まりのお掃除は、循環アダプタキャップを取外して水で洗います。

● 循環アダプタキャップが目づまりしたまま使用しますとふろ自動、おいだき（保温）運転が
正常に動作しなかったり、故障の原因になりますので、以下の方法で必ずこまめに掃除して
ください。

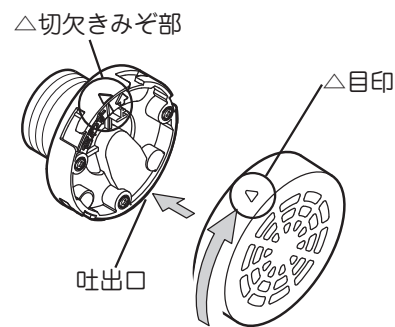
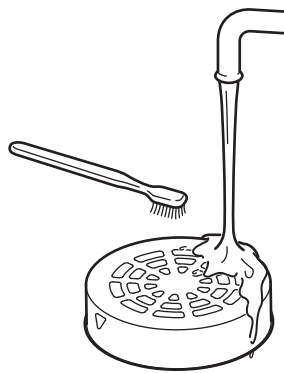
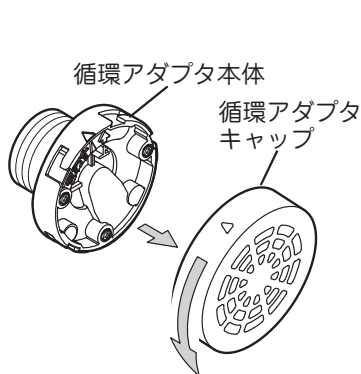


必ず行う

- ① 循環アダプタキャップを左へ
少し回してから引き外します。

- ② 循環アダプタキャップを
歯ブラシ等で水洗い
します。

- ③ 循環アダプタキャップの△目印を
△切欠きみぞ部に合わせてはめ込み、
右に止まるまで回して固定します。



お知らせ

- 循環アダプタキャップは、必ず正常に取付けて使用してください。外したままや、
正常に取付けられていない状態で使用しますと故障の原因になります。

次のことをお調べください

現 象	お 調 べ い た だ き た い こ と
リモコンのスイッチを押しても表示ランプが点灯しない	●漏電ブレーカーがコンセントに差し込まれていますか。 ●漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。〔31〕 ●停電していませんか。
給湯栓を開けてもお湯が出ない	●ガス元栓が全開になっていますか。 ●給水元栓が全開になっていますか。 ●断水ではありませんか。 ●リモコンの(運転)を押しましたか。 ●凍結していませんか。〔27〕〔28〕
あついお湯が出ない	●リモコンの給湯温度設定が低くなっていますか。 ●ガス元栓が全開になっていますか。 ●給湯またはシャワーを2ヶ所で同時使用されていませんか。
ぬるいお湯が出ない	●リモコンの給湯温度設定が高くなっていますか。 ●水量を絞りすぎていませんか。(夏期) ●給水元栓が全開になっていますか。
おいだきができない	●浴そうの水(湯)が循環アダプタより上にありますか。 ●呼び水をしましたか。〔15〕
おいだきがすぐ消火してしまう	●おいだき温度設定が低くなっていますか。 ●循環アダプタキャップがはずれていませんか。〔31〕 ●循環アダプタキャップの向きは、正しいですか。〔31〕
浴そうの上下の温度差が大きい	●循環アダプタキャップの向きは正しいですか。〔31〕 ●循環アダプタキャップが目詰りしていませんか。〔31〕
設定した温度が記憶されていない	●停電が起きていませんか。 ※ 1 秒以上の停電が発生した場合、設定していた温度、湯量、保温時間などが工場出荷時の設定になります。〔31〕
設定したお湯はり湯量どおりに沸き上がらない	●循環アダプタキャップにゴミや毛髪が詰まっていますか。〔31〕 ●お湯はり湯量の設定は適切ですか。〔19〕 ●ふろ自動が完了しないうちにふろ自動スイッチを何度も「切」「入」しませんでしたか。 ●残り湯によっては、沸き上がり量が異なることがあります。〔22〕 ●浴そうに人が入っているときにふろ自動スイッチを「入」にすると、お湯があふれることがあります。
ふろ自動、たし湯運転ができない	●給湯またはシャワーを使用していませんか。〔21〕〔24〕

次のような場合は故障ではありません

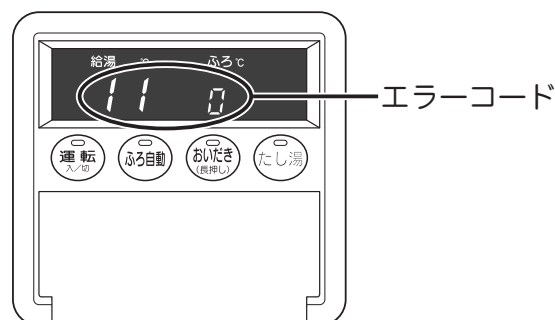
こんな場合	理 由
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない。	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
お湯の出を止めてもしばらく音がする。	消火後7分間は燃焼ファンを回転させて、燃焼ガスを排出します。
おいだきが終了してもしばらく音がする。	消火後20秒間はポンプを回転させて、お風呂のお湯をかくはんしています。
寒い日に排気口から白い湯気がでる。	寒さにより排気の中の水蒸気が白く見える現象で、異常ではありません。
高温出湯にすると、お湯が白くなる。	水には空気が含まれていて加熱されると気泡となって現われるためのものです。異常ではありません。
ふろ自動お湯はりまたは、おいだきを始めると循環アダプタからポコポコ音がして泡が出る。	おいだき配管の中にたまっていた空気が押し出されるためのもので、しばらくすると出なくなります。
排水ホースから少量のお湯が出る。	この機器は、逆止弁構造（浴そう内のお湯が給水側へ逆流しない構造）をもった大気開放弁が内蔵されています。 ●使い始めと使い終わりに少量のお湯が出ますが異常ではありません。 ●大気開放弁内に空気が残留している場合、配管内の圧力が急激に上昇すると大気開放弁から少しかだけ機外へ水を排水しますが異常ではありません。数回自動運転を行ない大気開放弁にお湯を通して空気を抜きますと排水はなくなります。
給湯栓を絞りすぎて水（熱い湯）になった。	給湯栓、シャワー栓を絞りすぎる（約 2L/分以下）と消火します。また、熱いお湯が出たり、消火したり、を繰り返すことがあります。
ぬるいお湯が出ない。	夏期など給水温度が30℃近くなりますと、低温に設定しても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯栓をさらに開けて湯量を多く出するか、混合水栓の給水栓を開けて湯と水を混ぜて使用してください。
あついお湯が出ない。	冬期など給水温度が低いときに60℃設定しますと、設定温度どおりのお湯が出ない場合があります。水からの沸かし直し（おいだき運転）をしているときに、給湯やシャワーを使用するなど給湯能力を超えた場合、十分な湯量や湯温が得られないことがあります。
給湯量に変化する。	給水温度の変化に応じて、給湯量を自動的に制御しています。夏期は給湯量が多く、冬期は少なくなりますが、異常ではありません。
お湯を使うと循環アダプタから少量の水が出る。	おいだき配管内の空気が膨張して水が押し出されるためのもので、異常ではありません。
お湯を出しても、  が点灯しない（しばらくして点灯する）	おいだき後にお湯を使った場合、おいだきの燃焼であたためられた機器内の水を出す間、しばらく燃焼しないことがあります。
お湯はり時間が長い場合がある。	お湯はり中、給湯を使用すると、お湯はりをいったん停止します。給湯使用時間分、お湯はり時間が長くなります。
ふろ自動、たし湯運転ができない。	この機器は給湯運転中にふろ自動、たし湯運転をするまたは、運転中に給湯をした場合、給湯運転を優先します。この時、ふろ自動、たし湯運転が待機状態となります。給湯使用を終了すると運転を開始します。

故障かな？ エラーコード表示がでたら

○機器に異常が発生したら、リモコンでお知らせします。

① 異常が発生したら、お知らせします。

◆ リモコンの表示部にエラーコードを点滅表示します。



例：エラーコード 110 の場合

② 下記のエラーコードが表示された場合は、処置の内容を行う。

表 示	原 因	処 置
1 1 0	点火エラーが生じたため	ガス元栓が全開になっているか確認する。 運転 を押す。
1 2 0	使用中、途中消火（失火）が生じたため	■ エラーが解除されます。 再度 運転 を押し使用してください。
1 4 0	安全装置が作動したため	安全装置の作動または故障が考えられます。 修理依頼してください。
2 5 2	ふろ循環システムの故障または異常が生じたため	浴そうの循環アダプタキャップが十分につかるまで水（湯）がはってあることを確認してください。 運転 を押す。 ■ エラーが解除されます。 再度 運転 を押し使用してください。
1 0 0	給排気および燃焼に異常が生じたため	お湯を使用することはできますが、十分な能力が出ない状態ですので、修理依頼してください。
9 9 0		機器が使用できない状態ですので、修理依頼してください。

その他のエラーコードが表示される場合は、お買い求め先（販売店）または当社窓口へご連絡ください。

③ 再度使用する。

◆ 再度エラーコードが表示される場合は、故障の可能性があります。使用を中止して、エラーコードを控えていただき、お買い求め先（販売店）または当社窓口へご連絡ください。

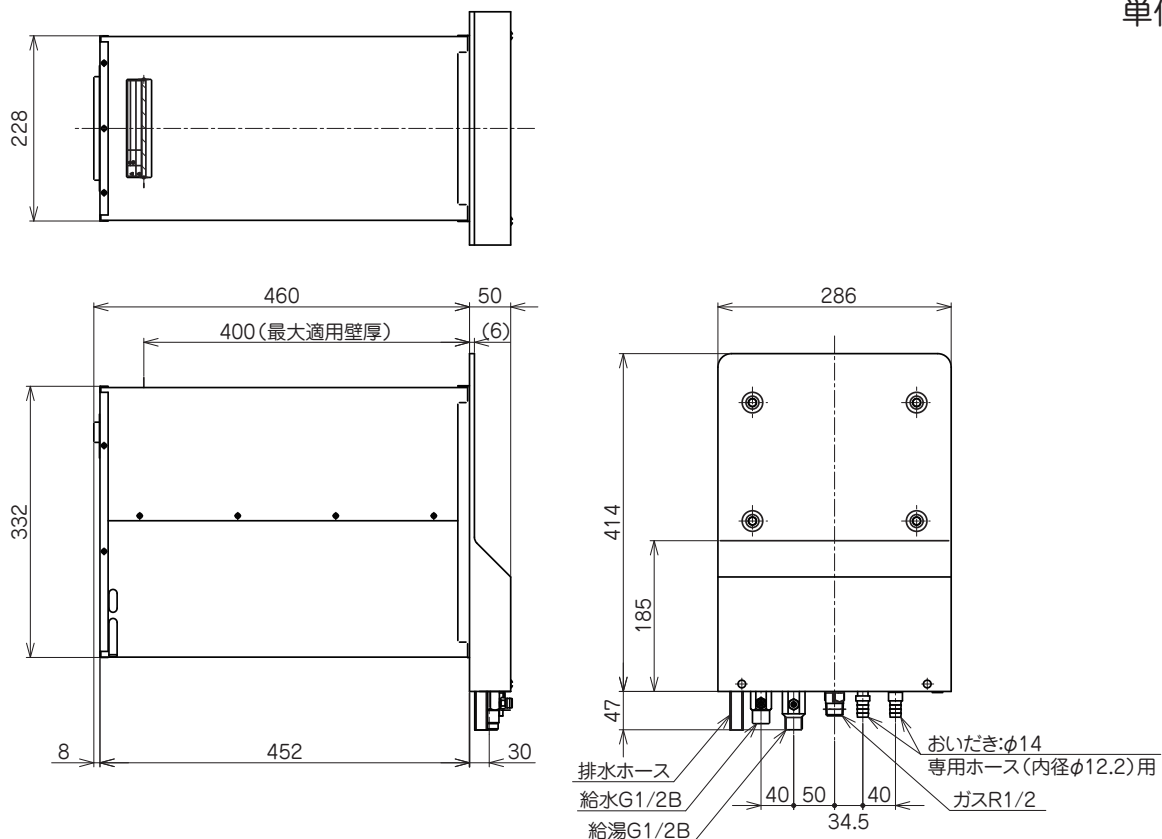
お知らせ

● 使用途中でリモコンのランプが点灯しなくなった場合、漏電ブレーカーの作動が考えられますので、[31](#)の要領で漏電ブレーカーの作動確認をしてください。

その他 寸法図

■本体

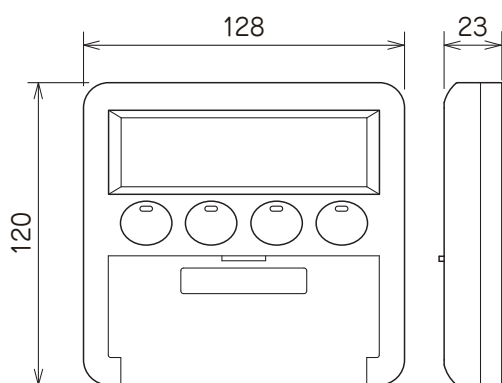
単位：mm



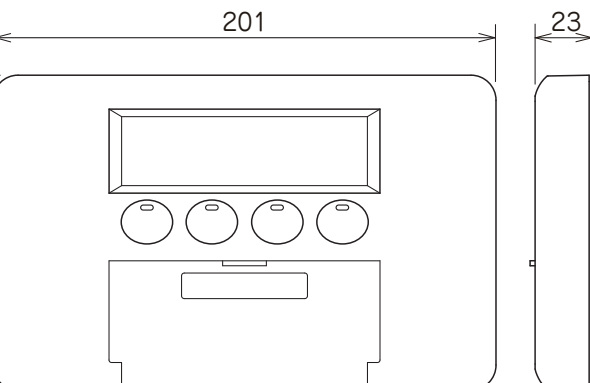
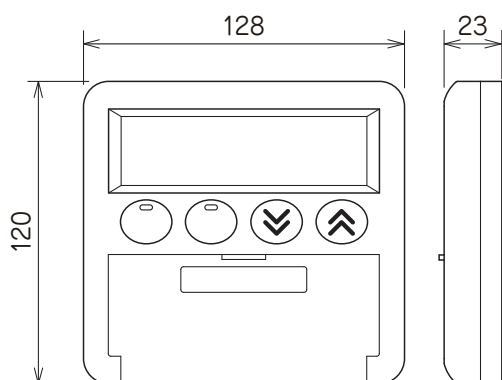
■リモコン

単位：mm

浴室リモコン



台所リモコン



【横長リモコンカバーを取付けた場合】

仕 様

その他

WF-806SA 仕様表

項 目			仕 様		
外 形 寸 法（ 本 体 ）			幅 286 ×高さ 461 ×奥行 510mm		
壁 貫 通 部 寸 法			幅 228 ×高さ 332 ×奥行 460mm		
質 量（ 本 体 ）			17 kg		
接 続 寸 法	ガ ス		R1/2（TU 接続）		
	給水・給湯		G1/2B		
	ふ ろ 循 環		φ14mm 専用継手		
標準ガス 消 費 量 kW	ガ ス 質		13A	12A	LP
	給 湯	最 大	18.5（15,900kcal/h）	17.5（15,000kcal/h）	18.5（1.33kg/h）
		最 小	5.8（5,000kcal/h）	5.5（4,700kcal/h）	5.8（0.42kg/h）
	ふ ろ		12.0（10,300kcal/h）	11.5（9,900kcal/h）	12.0（0.86kg/h）
	同時（最大）		21.0（18,000kcal/h）	19.5（16,800kcal/h）	21.0（1.50kg/h）
電 気 定 格	電 源		AC100V（50 / 60Hz）		
	消 費 電 力		60 W		
	待機時間消費電力		2.4 W		
	凍結予防用ヒーター		64 W		
最 低 作 動 水 圧			19.6 kPa（0.2kgf/cm ² ）		
使 用 水 圧			53.9（動水圧）～ 784kPa（0.55～ 8kgf/cm ² ）		
制 御 シ ス テ ム	給 湯		フィードフォワード+フィードバック式ガス比例制御		
	ふ ろ		温度設定沸上げ（37～ 48℃）、（給湯比例制御追従式）		
	ファン制御		DC ファンによる回転数制御		
排 気 温 度			260℃以下		
安 全 装 置			・ 立消え安全装置 ・ 沸騰防止装置 ・ 残火安全装置 ・ 過熱防止装置 ・ 漏電ブレーカー ・ 凍結予防用ヒーター ・ ファン回転検知 ・ 過圧逃し弁		

出湯能力

ガ ス 種	標準号数 （号）		温度上昇と標準出湯量（リットル／分）				
			水温 +15℃	水温 +25℃	水温 +30℃	水温 +40℃	水温 +50℃
13A,LP	能力大	8.5	14.2	8.5	7.1	5.3	4.3
	能力小	2.5	4.1	2.5	—	—	—
12A	能力大	8.0	13.3	8.0	6.7	5.0	4.0
	能力小	2.4	3.9	2.4	—	—	—

上記数値は計算値です。

アフターサービスのお申し込み

アフターサービス（点検・修理）を依頼される前に

「修理を依頼される前に」**32**、**33**を見て、もう一度ご確認ください。

それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないで買い求め先（販売店）または当社窓口へご連絡ください。

●ご連絡の際には次のことをお知らせください。

1. 品 名・・・機器本体の銘板を確認ください。
2. 購入日
3. 故障、異常の現象・・・できるだけ詳しく
4. お客様名、住所、電話番号、道順

●混合水栓のアフターサービスについては、買い求め先（販売店）または当社窓口へご連絡ください。

転居される場合

●ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、買い求め先（販売店）またはもよりのガス事業者にご相談ください。

この場合、調整・改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類や電源の周波数によっては調整できない場合もあります。

保証・補修について

●保証期間中の故障修理について

保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。

保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書（保証書付）を大切に保管してください。

●保証期間経過後の故障修理について

買い求め先（販売店）または当社窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後 10 年間です。

定期点検のおすすめ（有料）

- 機器をより安全にお使いいただくために、定期的（年に一回程度）に点検を受けてお手入れされることをおすすめします。また、機器の取替え目安年数は 10 年となります。
- 本機器は給水用具（逆流防止装置）に関しては（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は 4～6 年に 1 回程度の点検をおすすめします。
- 点検は買い求め先（販売店）または当社窓口にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

商品のお問い合わせは（お客様相談窓口）

個人のお客様

0120-801-761

※携帯電話の場合 **0570-001-761**（有料）

販売・施工など業者様

0570-071-761（有料）

●受付時間 平日 9:00～17:30（12:00～13:00を除く）
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

修理のご用命は

個人のお客様

0120-102-471

※携帯電話の場合 **0570-002-471**（有料）

販売・施工など業者様

0570-022-471（有料）

●受付時間 365日 24時間
（修理訪問は日中、地域により休日あり）

補修部品のご購入は（代引き販売窓口）

個人のお客様

0120-455-621

※携帯電話の場合 **0570-002-621**（有料）

販売・施工など業者様

0570-022-350（有料）

●受付時間 平日 9:00～17:30（12:00～13:00を除く）
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

※補修部品の交換は専門知識が必要のため、ご購入可能な補修部品は、専門知識を要せず、工具を使わない部品のみを対象としています。
修理のご依頼は、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

保証書

品名コード

WF-806SA

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はおお客様の正常な使用状態において万一、機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障し、無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の当社窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
7. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 住宅用途以外（業務用：喫茶店、飲食店など）でご使用になられた場合による故障および損傷。
 - (ロ) 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じる故障および損傷。
 - (ハ) 工事説明書および取扱説明書などに指示する方法以外の工事設計または取付工事などが原因で生じた不具合、故障および損傷。
 - (ニ) お買い上げ後、取付場所の移動・落下などによる故障および損傷。
 - (ホ) 建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する機器の不具合および塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆など設計仕様の範囲内の感覚的な現象の場合。
 - (ヘ) 適切な使用、維持管理を行わなかった場合および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ト) 電気、ガス、給水の供給事情および給水・給湯配管の錆など異物混入による故障および損傷。
 - (チ) 指定規格以外のガス（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）で使用された場合。
 - (リ) 火災・爆発などの事故、落雷・地震・噴火・風水害・煤煙・異常気象などの天災・地変および戦争・暴動など破壊行為による故障および損傷。
 - (ヌ) 海岸付近・温泉地などの地域における塩害・腐食性のガスおよびほこりなどの空気環境に起因する故障および損傷。
 - (ル) 温泉水、井戸水など水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことによる故障および損傷。
 - (ヲ) ねずみ・鳥・くも・ゴキブリなどの動物の侵入および行為に起因する故障および損傷。
 - (ワ) 消耗部品の取り替えおよび保守などの費用。
 - (カ) 熱量変更に伴う改造・調整の場合。
 - (ヨ) 本書の提示がない場合。
 - (タ) 本書に保証期間、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

お客様	お 名 前	TEL
	ご 住 所 〒	
保証期間	お買い上げ	年 月 日から 1 年間
販売店	店 名	TEL
	住 所 〒	

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、当社窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

※お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください

年 月 日	修 理 記 録 （ 修 理 内 容 ）	サービス員 ㊞

株式会社 ハウステック

〒370-0841 群馬県高崎市栄町 1-1

www.housetec.co.jp